

令和7年度 米子市の認知症施策を考える会（オレンジの会） 議事録

日 時：令和8年2月18日（水）午後2時00分～

場 所：米子市役所第2庁舎 2階第2会議室

出席者：委員（9名）

高田照男（会長）、廣田裕（副会長）、田住英之、木村留美子、吉田英司、吉留功、
森江佳奈、吉野靖子、大濱伸也

オブザーバー（2名）

中本道子、織奥奈々

事務局（7名）

山崎長寿社会課長、亀尾担当課長補佐、矢野係長、船木係長、長門主任、杉田認知症
地域支援推進員、生島認知症地域支援推進員

傍聴者：3名

議事概要：

■議題1：令和7年度の主な取り組みと課題

資料1に沿って事務局から説明。

【委員意見】

- ・認知症サポーター養成講座について、企業、若年層、家族介護世代等の対象別に内容を工夫する必要がある。
- ・認知症サポーター養成講座について、団体等からの依頼を待っているだけでなく、戦略的に展開する視点が重要である。
- ・認知症高齢者等事前登録制度について、写真等の事前登録している情報の更新体制を整備し、実効性を高めるべきである。
- ・困難事例に対する伴走支援が重要である。
- ・まず医療機関の関係者に認知症地域支援推進員や市の取り組みを知ってもらうべきである。

■議題2：第10期介護保険事業計画期間における認知症施策について

資料2に沿って事務局から説明。

【委員意見】

- ・「認知症とともに生きるまち」でなく「安心して認知症になれるまち」を目指すべきである。
- ・当事者および家族の参画を一層強化する必要がある。
- ・差別や偏見の解消に向けた継続的取組が重要である。
- ・家族への理解促進の充実が求められるため、民間事業者への啓発が必要である。
- ・就労と介護の両立支援を計画に位置付けるべきである。

- ・ 企業との連携・啓発を強化する必要がある。
- ・ 運転免許など、認知症というだけで一律に制限されることが多いが、できる部分もある。
- ・ 認知症の早期発見・早期対応に関する啓発や治療薬の補助等の取り組みについても計画作成する中で検討してもらいたい。